

平成28年度保安力向上センターの事業報告

1. 「保安力評価」の普及促進

(1) 保安力評価(センター評価)の実施

16社26工場のセンター評価を実施した。(添付資料 1-1 参照)

(これまでの実績 平成26年度:13社13工場 平成27年度:13社26工場)

センター評価員の体制上、年間30工場程度の評価が可能である。

(2) 新規会員の募集

①支援会員として1社(東燃ゼネラル石油(株))入会、1社(DIC(株))が支援会員から普及会員へ会員種別の変更となり、支援会員は合計23社で変わらず。(当初計画通り)

②普及会員として5社(荒川化学工業(株)、NS スチレンモノマー(株)、中日本高速道路(株)、出光興産(株)、小名浜石油(株))が入会し、合計19社となった。(当初計画通り)

(3) 保安力評価システムの拡充

①昨年度保安力評価システム Ver1.5 をバージョンアップした Ver2.0(評価表、評価表の解説、用語の解説 の3点セット)を作成した。

今年度はこの Ver2.0 をベースに、加工産業向けの保安力評価システム Ver2.0(評価表、評価表の解説、用語の解説 の3点セット)を作成した。

②評価システムのバージョンが変わっても改善の進捗が評価できるように、Ver1.5 による評価結果を Ver2.0 の評価結果に換算するシステムを構築した。

③Ver2.0 に対応した統計処理システムを構築し、バージョンを問わず他社との比較が可能となった。(添付資料 1-2 参照)

④保安力評価システムの東南アジアの工場への展開について支援会員の意向を確認した結果、ニーズがあったのは1社のみであった。昨年度海外(東南アジアの工場対象)向け保安力評価システム構築に着手する計画であったが、当面延期することとした。

(4) 改善の支援に向けた準備

保安力評価結果を踏まえセンターとして改善のアドバイスが出来るように、良好事例の整備を目的としたWGをスタートさせた。日本化学工業協会、METI の受託事業、センター評価を通じて収集した良好事例の中から参考になると思われる良好事例をピックアップし、保安力の評価項目と関連付けたうえでその良好事例に係る情報(活動の背景、活動の留意点、具体的な成果等)について再調査し、参考事例として整備中である。

今年度は支援会員に共通する弱みについて参考事例を整備している。残りの評価項目についても引き続いて整備する。

2. 保安に関わる「技術者・専門家」の育成支援

(1) 保安力自己評価員の力量向上

自己評価の精度向上を目的に、化学工業日報社とタイアップし会員会社の自己評価者を対象に4日間の講習会を開催した。

(2) センター評価員の養成

センター評価の要請に応え、また評価員の世代交代に対応するため会員会社のOB等2名がセンター評価の研修中である。(評価員は現状14名)

3. 「保安力に関する情報」の収集と提供

(1) 国内外との情報交流と連携の推進

- ①経済産業省商務流通・保安グループ保安課より、安全工学会が現場保安力の向上に関する調査事業を受託した。今年度は新たな事業の3年度計画の作成に向けて、調査の位置付である。
- ②保安力評価推進委員会を5回開催し、保安力評価に関わる情報交換、加工向け保安力評価システム Ver.2.0 改訂の議論等を実施した。下期から推進委員主体の運営に変更し、情報の共有化による保安力の向上を目的に、推進委員会の下に3つのWGを結成し活動中である。

WG1: 自己評価のあり方の検討

WG2: 支援会員に共通する安全文化の弱点について対応の検討

WG3: 支援会員のセンター評価以外の第三者機関活用の実績調査と、評価システムへの反映検討

(2) 成果報告会等の対外発表

- ①6月1日に安全工学グループが結成され、化学工業日報社主催で9月に開催された「産業安全フォーラム2016」において、センターの活動について紹介した。
- ②9月に開催された公益財団法人総合安全工学研究所懇話会において、「保安力評価について」講演した。
- ③10月に開催された石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の安全講習会において、「化学事故と保安力評価」について講演した。
- ④10月に開催された製薬工業会のセミナーにおいて、「安全に配慮したプロセス開発と操業」について講演した。
- ⑤12月に開催された安全工学会の「第49回安全工学研究発表会」において、『安全工学グループの創設と展望』のテーマで日化協・石化協も参加しパネルディスカッションを行った。
- ⑥12月に三菱ガス化学(株)新潟工場において、「化学プラントの自主的安全活動」について講演した。
- ⑦1月に開催された石油化学工業協会の巡回セミナーにおいて、「化学産業の保安力の問題点と保安力評価」について講演した。
- ⑧2月に開催された全国危険物安全協会の危険物施設リスクアセスメント指導者研修会において、「化学プロセスの安全と保安力の強化」について講演した。

- ⑨3月に開催された化学工学会年会において、産業セッション基調講演「化学災害の背景要因と保安力評価」を行った。